

質の高い
紫外線蛍光画像を、
顕微鏡に迫る
高解像度で、
しかも手軽に。



FLSCAN の特長

顕微鏡に迫る高い解像度と A4 サイズの両立

FLSCAN は、最高解像度 1600dpi の精細な画像を得ることができます。解像度 1600dpi は、16 μ m の画像を解像することができます。ディスプレイに表示した場合、約 20 倍の実体顕微鏡に相当する倍率です。しかも、原稿台に同時に設置可能な原稿のサイズは、A4 サイズ = 216x297mm ですので、画素数に換算すれば、2 億 5 千万画素のフルカラー画像を同時に得ることが可能です。

シェーディング補正を搭載し、再現性に優れた画像

原稿台フタを被せることで、操作環境の外乱光からの影響を避けることができます。また、イメージスキャナの基本性能であるシェーディング補正機能を継承しました。その結果、操作環境の外乱光、更に内蔵の照明光源の強度や照明ムラに依存しない、原稿の持つ反射率（蛍光放射率）に忠実な画像を得ることができます。

USB 接続、デジタル画像としての親和性、16bit 画像

FLSCAN は、USB インターフェースにて、パーソナルコンピュータと簡単に接続できます。また、スキャンした画像データは、デジタル画像としてパーソナルコンピュータに取り込まれますので、市販の画像処理ソフトにて、画面表示、保存、画像処理を行うことができます。更に、16 ビット画像としての処理機能も備えており、最高で 6 万 5000 階調 (=2¹⁶) もの微妙な表面反射率 (= 濃度) 測定が可能です。

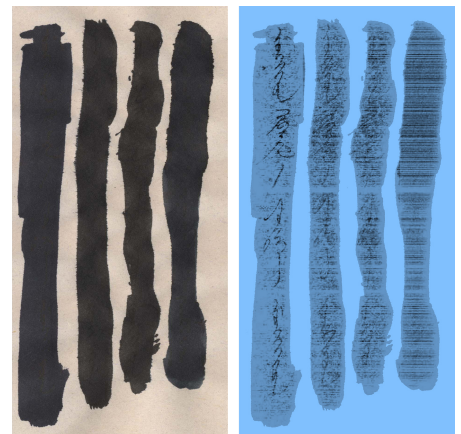
励起光波長、蛍光波長のカスタマイズが可能

FLSCAN をベースにして、光源側の透過フィルタや、センサ側のカットフィルタ、更には、光源の発光中心波長を変更することにより、励起光波長や蛍光波長のカスタマイズが可能です。

FLSCAN 応用事例

墨で塗り潰した文字の判読サンプル画像
手稿復元のための模擬資料による予備実験。
資料提供 芝山豊 様 清泉女学院大学教授

わら半紙上に、左から 油性マジック / 墨汁 / 顔料インク / 水性インクで
筆記し、墨汁による墨塗りを実施 1600dpi にてスキャン



カラーイメージスキャナ

FLSCAN

FLSCAN 基本仕様

光源	紫外線発光キセノン冷陰極蛍光管
取り込み寸法	A4 サイズ (216x297mm)
光学解像度	1600dpi
読み取り階調	各色 16bit 入力 / 16bit 出力
インターフェース	USB IEEE1394 シリアルバス (オプション)
本体外形寸法	W332mm x D562mm x H133mm
重量	約 8.5kg